

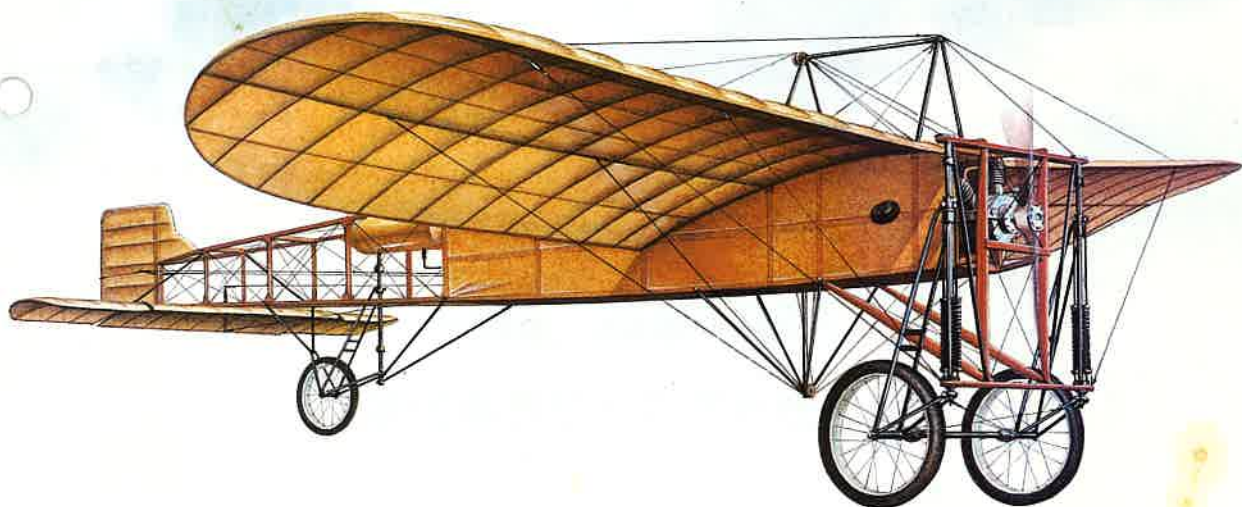
WING NEWS

HONDA FLYING CLUB



HONDA FLYING SCHOOL

1996.JUN



Shigeo Itabashi

Blériot XI

Country of origin: France. 1909

Type: Single-seat utility aircraft.
Powerplant: Anzani 3 cylinder Y-type air-cooled engine rated at 25hp×1.
Dimensions: Wing span 7.8m, length 8.0m, wing area 14.0m².
Weights: Empty 210kg, loaded 300kg. Maximum speed 58kph.
First flight: July 25th 1909 by Louis Blériot.

138

※単位は(エルビー)
ポンドです。



シニア飛行料金制度を始めます

平成8年6月1日より、ホンダフライングクラブのシニア飛行料金制度を開始します。60歳以上のクラブ員の方を対象に、安全に気軽にしかも低料金で、同乗飛行を楽しんでいただけるようになります。

シニア新飛行料金（30分では）

平日 16,500円

土、日、祭日 18,000円

夜間 18,500円

空を長く愛する皆様の為の新制度です。どうぞ御利用下さい。

6月から8月にかけてクラブ行事御案内

●シミュレーター見学会

8月5日（月） 昨年好評のシミュレーター見学会を今年も実施します。今回はジャンボ機の重整備の見学や羽田ビックバードにて懇親会も計画しております。詳しくは7月上旬頃に御案内を送付いたします。なお、見学会はクラブ・スクールの方のみで、申込者多数の場合には抽選となります。

●夏休みキャラバンフライト ～セスナ208キャラバンで大島へ～

車で混雑する地上を避けて、空から大島へキャラバンで優雅に舞い降りてみませんか。御家族・御友人とどうぞ。

期間 夏休み中 7/20～8/31（除く8/10～8/18）の平日

料金 別途御案内致しますが、割安料金となっております。

日程 原則として日帰り、大島空港の運用時間（08：30～16：30）をめいっぱい利用しましょう。

●納涼フライト（10%割引）

夏だから、暑いから、ちょっとでも涼しい所へ行きませんか。セスナ172で高々度飛行へ

挑戦しましょう。地上が35℃ならば、10,000FTは約15℃だ！ さあ、どこまで昇れるか？
また、尾瀬、白根山、男体山、榛名山など山岳飛行は如何ですか？

●島巡りフライト

恒例となりつつある夏の島巡りフライトの補助がまた始まります。島方向へのロングナビゲーションをされるクラブの方へ、フライングクラブより1フライトにつき¥5,000の補助が出ます。

期間 8月1日～9月30日

(但し、8/11～8/18を除く)

詳細は、運航管理までどうぞ。

●セタフライト

「7月7日、晴れ」ではありませんが、天の川を見に夜間飛行を楽しんでみませんか。

●花火見物フライト

7月27日(土) 隅田川花火大会

8月3日(土) いたばし&戸田橋花火大会

8月10日(土) 彩の祭典さいたま新都心三市合同花火大会

8月17日(土) 神宮外苑花火大会

学科試験のお知らせ

●航空従事者学科試験

締め切り 本田航空 6月19日(木)

航空局 6月21日(金)

試験日 自家用、事業用、計器 8月24日(土)

●航空無線通信士

締め切り 6月20日(木)

試験日 8月6日(火)～8日(木)

●航空特殊無線技士

締め切り 8月20日(火)

試験日 10月(日時は後日)

受験申請書は、運航管理にあります。

グリーン クロス クラブ、九州へ飛ぶ

No.1169 三浦敏明

JA4100 ソカタTB10



【1日目】

岡部、田中、三浦の3名は、ゴールデンウィークの初瑞の4月28日、意気揚々と九州方面へ向かって出発しました。

第1コースの機長は三浦、コーパイは田中。コースは座間NDB、沼津、浜松VOR、河和VOR経由で八尾でした。10NM付近から降下して、大和川づたいに進入したら右手に飛行場が見えました。春霞で地平線が見えず、多少ふらつきましたがまずまずの出来映えではなかったかと、自画自賛しています。

八尾に着いて早速遅い昼御飯が食べられると、喜び勇んでレストランに行くとお休み。近くにいた人に尋ねると、15分くらいかかる駅まで行かねばならないという。三人互いに見合わず顔と顔。田中さんは朝抜きできたのでこれ以上は辛抱できないという。テクテク歩いてやっと昼飯にありつけました。八尾は昼飯にご用心ご用心。

第2コースは田中キャプテン、コーパイ三浦。WEST BANDは関空の特管区が1000FT

に押えられているため、900FTで抜けることにしました。関西TCAからなるべく北側を通過するようにとのアドバイスを受けながら、神戸を過ぎたあたりでやっと上昇許可が出ました。

小豆VOR、松山VOR、大分VOR経由で長崎に向かいました。途中松山TWRを呼びましたら、岩国APPとコンタクトするように指示されました。コントローラーは外国人でしたが、とても分かり易い英語で助かりました。長崎空港の東側には3000FT級の山があり、その南側から回り込んだら、大きな人工島の上にランウエイが見えました。ナイスランディングだったことは言うに及びません。

長崎市内行きのリムジンの中からホテルを予約。チェックインをすませて早々に夕食のためタクシーをとばして思案橋へ。黒鯛の活き作りと鯨の赤身、ベーコン、胃袋、そしてきびなごの唐揚げにお酒のピッチも大いにあがりました。ほろ酔い加減で最後の仕上げは長崎チャンポンと皿うどんでした。

【2日目】

4月29日朝、目を覚ますと早速TVのスイッチをいれて天気を見ると東シナ海にある低気圧が張り出して、午後からは雨の予報。外に出てみるともうパラパラと小雨になっている。朝食をとりながら、どうしたものかと全員浮かぬ顔。兎に角飛行場まで行ってみようとバスに乗る。WXをチェックすると、ここさえ抜ければ東は問題ない。屋上に上がって東の山を見ると、かすかに稜線が見えている。よし、行こうとなったが、私には自信がない。ここは一つ田中キャプテンにお願いすることにしよう。そういえば昨年7月に札幌で閉じこめられたときも、脱出のキャプテンは田中さんだった。

RWY32を離陸してしばらく針路を北に取り、大村湾の北端から東に向かう。有明海を右に見てしばらく飛ぶと佐賀の町並みが見えてきた。福岡APP、築城APPとコンタクトを取りながら、小倉VOR、宇部VOR、岩見VORを経由して出雲に到着。昼に食べた出雲そばの味は、また格別でした。

天気も良くなってきたので、次のコースは岡部機長にお願いすることになった。コーパイは田中さん。美保、鳥取、但馬飛行場の上空をそれぞれ通過して、天橋立を見学しながら小松に向かう。小松TCAとコンタクトしながら飛行場直上を通過、エアライン機が1機海側を降下中だった。富山到着はまだ日の高い5時過ぎだった。

富山駅前のステーションホテルにチェックイン。一風呂浴びて夕食に出かける。タクシー運転手に聞いた店に入り、蛸いかの踊り食いと湯引きに舌鼓を打つ。刺身の大量盛りと紅ずわいの一匹焼きも絶品でした。

【3日目】

4月30日、天気は上々なれど相変わらず春霞で山はほんやりしている。天気は次第に西から崩れてきていて、昨日通過した山陰はもう曇っている。兎に角、新潟まで飛ばう。その先は新潟で考えよう。昨日に引き続き一度岡部さんにキャプテンをやらしてもらおう。コーパイは三浦が勤めさせてもらいます。RWY20でTake off, Left down WindをbreakしてHeading080をKeep。しばらく飛んで陸地にでると水平線が見えず飛びにくそうなので、海岸線伝いに飛ぶことにした。米山や弥彦山を右手に見ながら飛んでいると、新潟が見えてきた。RWY10のStright in approach、滑走路が目前に迫る。コースよし、グライドパスよし、スレッシュホールドよし、見事な着陸でした。

Spot 7を割り当てられて行ってみると、なんとそこは新しいターミナルのボーディングブリッチが有るではないか。3名の者も一瞬目を疑ったが、Towerから何も言ってくる様子もないので、間違いのないのだろう。岡部さんは給油のため機体に残り、田中さんと三浦はWXチェックのためCABへ。私たちは工事現場をかいぐり、出るには出てやっとの思いでCABまでたどりつき、WXをチェック。東北、北海道の天気はよいが、翌日は下り坂。特に関東地方は午後から雨の予報で、足止めになる可能性が強い。二人は相談の末、福島経由で今日中に帰ることにした。

Flight planをいれて、駐機場へ戻ろうとしたら、エプロンへの出口がわからない。全日空のカウンターに行ってエプロンに出してくれるよう頼んだが、保安上駄目だという。仕方なく再度CABに舞い戻り、やっと7番スポットに戻ると、今度は岡部さんがいない。待つこと30分位して、ガードマンと帰ってきた。工事中のターミナルに入ったら、自動的にドアがロックされて、閉じこめられてしまったとのことでした。ご本人はさぞ心細い思いをしたことでしょう。皆さん、RJSNには、呉々もご用心ご用心。

RJSFへのキャプテンは三浦、コーパイは田中さん。Heading 133でダイレクト福島へ向かう。白い雪が残る越後、会津の山々を越えて猪苗代湖へ RWY 19 で Landing。昼食のビールとカツ丼の味も格別でした。

最終コースは田中機長。レディオは女性の見習い管制官のようだ。ランウエイを間違えたり、ボイスもたどたどしい。Straight out departureで3000ftでレベルオフ。すると高度3500ft Straight in approachしてくる着陸機と出会った。くわばら、くわばら。

以上が私たち三人の九州漫遊フライトの全てです。雲を迎えに行き、雲に追っかけられた、ゴールドデンウィークの楽しい楽しいグルメの旅でした。また、いつの日か皆んなと飛べる日を楽しみに、休み明けからまた仕事にも精を出したいと思っています。

This is JF1ZFL may we go ahead?

No.5521 荒川 洸治

アマチュア社団無線局：呼出符号JJ1ZFL（ホンダエアーマービルクラブ）を御存じですか。

フライングクラブ、オーナーズクラブメンバーによって構成されるアマチュア無線局です。

他局との技術情報の交換の他ロングナビでの僚機間の通信などいろいろ楽しい利用が可能です。

JF1ZFLに御興味のある方、メンバーに参加されたい方、御気軽にメンバーにお声をかけください（メンバーが分からない時は、パイロットの小田嶋さんにお聞き下さい）。

《無線局関係雑学》

飛行機に機番がある様に無線局に局番（呼出符号）があります。

機番の初めのアルファベットは国際条約？で割当てられている事は皆さん御存じですが、局番も全く同じ方法で割り当てられています。

J (A) —日本 N—アメリカ G—イギリス B (Y) —中国

HB—スイスなどです。

エアラインの機番から何処から飛来したか思いを馳せるのも楽しいかもしれませんね。



SWITZERLAND - Canton of GENEVA					
H B 9 B Z A					
Confirming QSO with	Day Month Year	Time UTC	MHz	Mode	RST
J M 1 Z F L	08 04 1981	13.50	28	SSB	52
Robert CHALMAS P.O. Box 222 1227 Carouge/GENEVA			PSE QSL THX		
THX FR NICE QSO ES HPE CUAGH W 73 dr Ken. Robert					

エアラインの機番（スイス籍）と無線局（スイス局からの交信カード）の例

無線局免許状		34838012	
氏名	アサヒ コウジ	呼出符号	JF1ZFL
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	免許の番号	国電 761838 号
種別	無線局の種別	免許の有効期間	平成 8. 3-28
電波の型式	電波の型式	通信の相手方	アマチュア局
周波数	周波数	通信の時間	日 時
出力	出力	通信事項	アマチュア局間通信 (7.3MHzから7.3MHz)
A3J F3 14.5MHz 10W			
A3J F3 4.35MHz 10W			
平成 8年 3月 28日		関東電気通信監理局長	

JF1ZFLの局免許証

REPORTED BY 5521 荒川

BIFのトレーニング用プログラム

No.5096 小野田健司

前回ADFのインターセプションのプログラムを作って本誌に掲載しましてバージョンアップしたら再度お知らせすると記しましたが今回VORも加えたものを作成いたしましたのでお知らせします。

なおこのプログラムは、エアクラフトコントロールを目的としてはいたしませんのでそれは実機で訓練をしてください。しかし計器飛行感覚を体験するには有効であると思われます。この感覚は安全運航に確実に寄与するものと思いません。

BIFトレーニングに有効に使用出来るプログラムに着眼したものですので旋回時も完全鈎合旋回です。今回もそれは変わっていませんが、楽しみの（遊びの？）要素も含めようと関東平野とその周辺の局を受信可能にしました。飛行可能時間も約1時間23分としましたので周辺フライトは十分楽しめると思います。50万分の1の航空図（関東甲信越）版の主だったデータを含ませてあります。

前は、計器は、DGとADFのみでしたが、これにVORを加え、ヘディングをバンクでコントロールするように変更しました。このため水平儀も計器に加えました。しかし高度は3000FTで一定のままです。飛行条件に風を加えました。単位は方位を数値で速度はKTで風の乱れ度も0から3まで指定できます。これは風の変化の程度を示しますが、さらに風速の強い時は風向変化が少ないようにしてあります。この欄をC/Rキー（リターンキー）だけ叩けば（入力なし）ウインドカームの状態となります。操作方法は画面の下に表示があるのがファンクションキーに各々対応します。すなわち下図のようになりますがヘルプキーが使用可能にしましたのでソフトでその都度参照できます。これにはADFとVORのDATAも入れてあります。



F1 : END、フライト終了時このキーで航跡を描くモードに移行します。

F2 : VL-VORを左に30度まわします。

F3 : V1-VORを左に5度まわします。

F4 : Vr-VORを左に5度まわします。

F5 : VR-VORを左に30度まわします。

F6 : Vorch-VORのチャンネルを変えます。

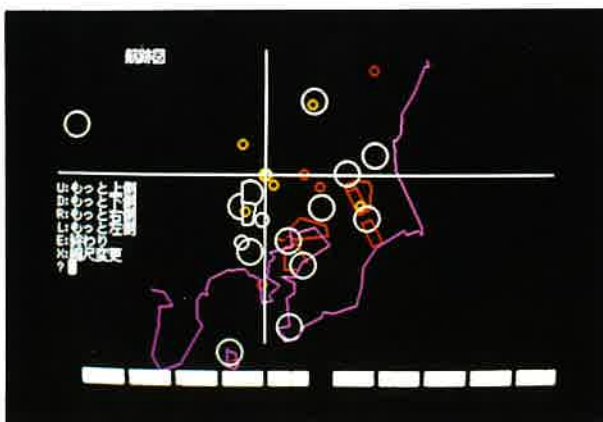
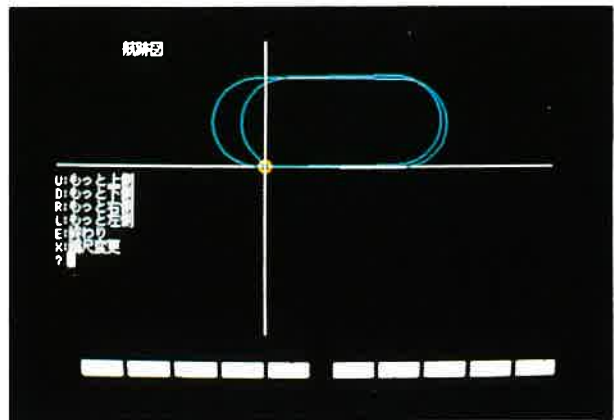
F7 : Adfch-ADFのチャンネルを変えます。

F8 : 不使用

F9 : Left-左に5度バンクをとります。

F10 : Right-右に5度バンクをとります。

これ以外に数字キーの1と2のキーがそれぞれVORの右と左に1度ずつセットを変えます。また矢印キーの左はバンクを左に1度変化させ矢印キーの右はバンクを右に1度変化させます。(ただしこの4つのキーは押し続けるとどんどん変化しますので注意して下さい。)



F1 キーを押すと航跡をトレースしはじめますが本田A/Pを中心に縮尺も一定です。しかしトレースを終了すると入力を促す?マークができますので見たい方向 (Upはupside. leftはleftside. の意味でXは倍率を変えます。) Xを入力すると現在の倍率が表示されますので続いて変更したい倍率をいれます。

比べてみよう!

C172 対 C303

皆様お馴染みのC172とC303、どこが違うと思いますか?。「エンジンが1発と2発」なのは誰でも分かりますね。今回はその他の面白い点を探してみました。

1、まずはデータで見てみましょう。(飛行規程より)

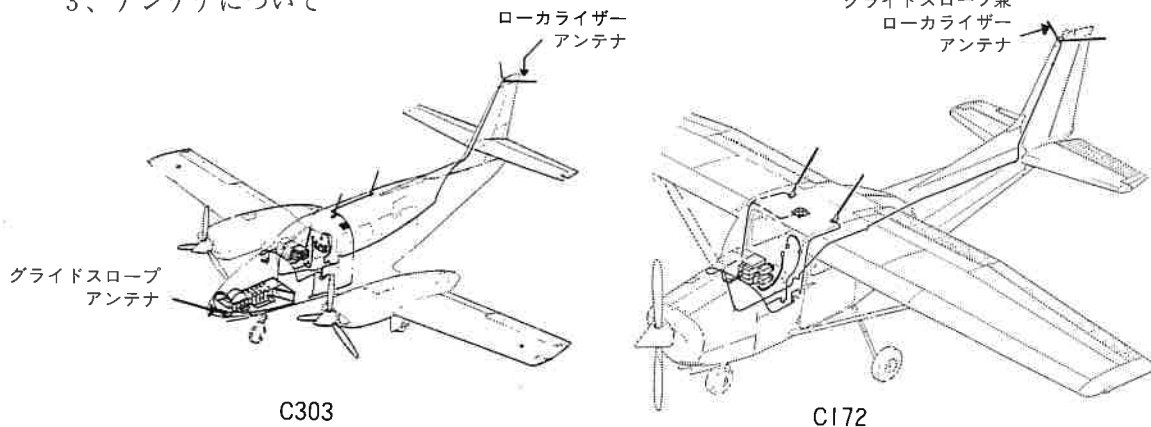
	C172	C303
エンジン	ライカミング0-320-D2J	コンチネンタル TS10-520-AE(左) コンチネンタル LTS10-520-AE(右)
プロペラ	マッコーレイIC160/DTM7557	マッコーレイ3AF32C506/ 82NEB-8(左) C507/L82NEB-8(右)
定員	4名	6名
着陸装置	固定、鋼管主脚柱	油圧引き込み、オレオ緩衝
最大速度	123KT (SL)	216KT (18000FT)
巡航速度	99KT	151KT
航続時間	7.5h(ロングレンジ)	6.6h
最大離陸重量	2400LBS	5150LBS
上昇率	700FT/MIN	1480FT/MIN

2、エンジン・プロペラについて

C172は右回りですね。C303は左エンジンは右回りですが、右は左回りです。右のエンジンとプロペラのデータには「L」がついていますね。C303はこの左右逆回転方式をとっているため臨界発動機(多発機でそのエンジンが止まった時、最も不利になる発動機)がありません。ただし左右のエンジン間で一部の部品の互換性が無いため、整備上不便な点もあります。

またC303はターボチャージャー付のC206とほぼ同じエンジンですが、出力を調整により押えてあります。そのためC206には最大出力に時間制限が有りますが、C303には有りません。そして出力を押えることによりプロペラの径を小さくでき、より胴体に近い場所に取り付けることができました。これはシングルエンジンの時の影響が小さくてすむのです。

3、アンテナについて



C172のILSのアンテナは、VORと一緒に尾翼上部にカタツムリのつものようにのびています。C303のILSアンテナは、グライドスロープとローカライザーに分かれています。グライドスロープアンテナはノーズコーンの中にあり、アルミ定規の様な形をしています。ローカライザーは垂直尾翼上部にヒレのように付いています。

4、防除氷装置について

C172は予知された凍結気象状態の飛行は禁止されています。C303は次の防除氷装置を装備しているので、追加飛行規定により凍結気象状態での飛行に適するとなっています。

C172	C303
ピトーヒーター（電熱）	ピトーヒーター（電熱）
キャブヒート（排気管の熱で暖めた外気）	ストールワーニングヒーター（電熱）
	ディアイシングブーツ（空気式。主翼、水平・垂直尾翼の前縁の除氷）
	プロペラ防水ブーツ（電熱）
	風防防水パネル（電熱）
	着氷監視灯

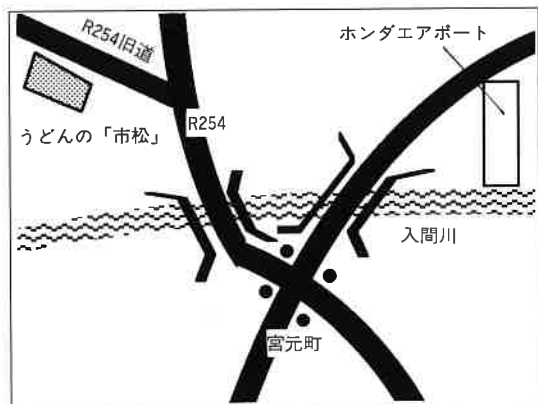
翼やプロペラの前縁に張ってある黒いゴムシートを「ブーツ」と呼び、バキュームポンプを利用して膨らませたり縮めたりして除氷する物と、中の電熱線で暖めて防水する物が有ります。ただしC172の水平尾翼の前縁のゴムシートは翼前縁の保護の為であり、ブーツではありません。

これだけ様々な装置をしたC303でも完全に防護はできません。激しい着氷性の雨の中は飛行できません。ほとんど凍結に対応できないC172で凍結気象状態に遭遇するのは大変危険です。パイロットは飛行前に十分に気象情報を集め、安全な計画を検討するべきでしょう。



翼及び水平垂直尾翼の除氷ブーツ

うどんの店「市松」



今回は、皆様おなじみの店「そうま」の姉妹店「うどんの「市松」」をご紹介します。この店はホンダエアポートからは少し離れますがうどんの専門店として好評です。鴨汁せいろ（780円）、鴨南蛮（830円）は評判の味を守るご主人のおすすめ品です。気取りのないこのお店で本物のうどんをお試し下さい。

TEL 0492-97-5868

定休日 元旦のみ休業

新入会員紹介 (敬称略)

フライングスクール

- 5 6 5 6 石井正一 H8. 3. 16
- 5 6 5 8 市川浩和 H8. 5. 5

フライングクラブ

- 1 9 2 0 花見一雄 H8. 4. 1
- 1 9 2 1 内野忠徳 H8. 4. 1
- 1 9 2 2 堀川裕史 H8. 4. 1
- 1 9 2 3 武井 泰 H8. 5. 7

USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

7 月中に切れる方

宇 梶 栄 H8.7.14
内 海 工 H8.7.20
緒 方 哲 郎 H8.7.13
栗 原 栄 H8.7.3
泉 水 薫 夫 H8.7.25
宮 崎 正 H8.7.25
水 谷 正 洋 H8.7.10

8 月中に切れる方

石 井 篤 H8.8.17
徳 間 順 一 H8.8.7

●申請に必要なもの

住 民 票 1 通

練習許可申請書 1 通

②申請書の住所は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さず書いて下さい。

また、欄外に捺印を押して下さい。

写真（インスタントは不可）3.5cm×4.5cm 2 枚

②写真の裏側にかならず記名して下さい。

印鑑（シャチハタ不可）

申請諸費用 3,200円

●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です。）

宮入内科（有楽町交通会館） 03-3211-4845

中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル4F） 03-3452-4468

国際空港診療所（羽田空港全日空到着ロビー近く） 03-5757-1122

【個人で操縦練習許可書をお取りになった方へのお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っているスクールの方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早めに本田航空運航部まで御連絡下さい。TEL 0492-99-1115

学 科 講 習 会

7月		8月	
日付	科 目	日付	科 目
7日(日)	通 信 - 4	4日(日)	運 航 一 般 - 4
12日(金)	B I F - 2	9日(金)	法 規 - 4
14日(日)	運 航 一 般 - 3	11日(日)	航 法 - 6
21日(日)	気 象 - 3	18日(日)	空 中 操 作 - 3
26日(金)	工 学 - 4	23日(金)	通 信 - 1
28日(日)	空 中 操 作 - 2	25日(日)	気 象 - 4

学科講習携行品

航空法規：航空法 AIM 1/50万チャート

航空気象：新・天気予報の手引 AIM

航空通信：AIM VFR交話法

航空工学：航空工学入門 セスナ172取扱法又は訓練用飛行規程、システムスタディ

航 法：基礎航法教室 航法計算盤の使い方 コンピューター プロッター

1/50万チャート 航法計画書の作り方と飛行の仕方

ナビゲーションログ 操縦訓練マニュアル

計器飛行：操縦訓練マニュアル AIM 飛行機操縦教本

空中操作：操縦訓練マニュアル 飛行機操縦教本

運航一般：AIM VFR交話法 飛行機操縦教本

航空特殊無線：電波法規 無線工学

クラブ員の皆様へ

- 夜間飛行を予約した方はPM 3:00頃に予約と天候の確認のため運航管理へ電話をお願いします。
- 本田航空ではホンダフライングクラブ又はスクール入会希望者及びホンダ車購入希望者を御紹介いただいたクラブ員・スクール生の方に無料飛行券を進呈しております。
クラブ又はスクール入会者の紹介…1時間飛行券、
ホンダ車購入希望者の紹介(成約のみ)…20分間飛行券
- 「VFR交話法」の最新版がついに出来ました。アドバイザーから横田アプローチまで、最新の情報を元にわかりやすく解説、内容量はこれまでの1.5倍になっています。1冊3,200円です。

第27回



会期 ● 一九九六年五月三十一日(金)ー六月十日(月)
午前九時より午後四時まで・初日は午後一時開場・最終日午後一時半まで入場受付・二時半終了・会期中無休
会場 ● 東京都美術館(上野公園内)
入場料六〇〇円・学生以下無料・団体(十名以上) 四〇〇円
表紙イラストでおなじみの板橋さんのライフワークである伝魚が展示されます。どうぞご覧下さい。

ウィングニュース 138号

発行者/埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

ホンダフライングクラブ事務局

Tel 0492-99-1115(代) 〒350-01

表紙イラスト/板橋 繁男

HONDA
FLYING CLUB

